

# いわて復興だより



復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思ひます。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

がんばろう!岩手 つなごう!岩手 第 159 号 令和 2 年 3 月号

## あの日から 9 年 東日本大震災津波 岩手県・釜石市合同追悼式

釜石市  
KAMAISHI



菊の花などで飾られた祭壇



式辞を述べる達増知事



式辞を述べる野田釜石市長

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分、日本周辺での観測史上最大（発生時点において）となるマグニチュード 9.0 の巨大地震が発生しました。

この地震により岩手県沿岸にも、最大浸水高 18m 以上（釜石市）、最大遡上高（津波が陸上を這い上がった最高地点）40m 以上（大船渡市）の津波が押し寄せました。

その痛ましい震災から 9 年を迎えた令和 2 年 3 月 11 日（水）、「東日本大震災津波岩手県・釜石市合同追悼式」が釜石市民ホール（同市大町）で執り行われました。

新型コロナウイルスの感染防止対策のため、規模を縮小しての開催となり、国や県、市の関係者、ご遺族など 135 人が参列しました。

会場では、地震が発生した午後 2 時 46 分に参列者全員が黙とうをし、犠牲となった方々へ哀悼の誠を捧げ

ました。

達増知事は、「犠牲になられた方々のふるさとへの思いを受け継いで、この東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓や復興の姿を後世や国内外の人々に伝えながら、復興を進めていかなければなりません。これからの、復興の歩みは続いていきます。失われた尊い命は還ることはなく、災害の衝撃やこころの傷はたやすく癒えるものではありませんが、私たちは、個人の尊厳を基本的価値とし、誰一人として取り残さないという理念のもと、一人ひとりがお互いに支え合いながら幸福を守り育てるための取組みを進め、『いのちを守り海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造』を目指して復興を進めることをお誓いいたします。」と復興への誓いのことばを述べました。

また、野田釜石市長は「市民一人

ひとりが東日本大震災からの復興を実感することができるように、令和 2 年度の復興完遂に全力を尽くしてまいります。夢と希望を持って生き生きと暮らせるまち釜石の実現に向け、引き続き決して撓（たわ）むことなく、屈することなく復興の道を歩んで参ります。」と述べました。

ご遺族を代表して、父親を亡くされた澤田龍明さんが「遺族一人ひとりにそれぞれの長い 3,300 日があると思います。まだまだ引きずって生活している遺族もたくさん居ると思います。とにかく、この災害を大きな教訓として、尊い命を守ることを優先とした対応が、ここに眠る御霊への最大の恩返しとなることは間違いありません。」と追悼のことばを述べました。

この後、参列者は献花台に白菊を手向け、犠牲になられた方々に思いを寄せました。



黙とうを捧げる参列者



参列者による献花



参列者による献花

## 三陸沿岸道路 「久慈北 IC～侍浜 IC」間が開通

久慈市  
KUJI

3月1日（日）、国土交通省が事業を進めている復興道路 三陸沿岸道路のうち、久慈北 IC～侍浜（さむらいはま）IC間（延長 7.4km）が開通しました。

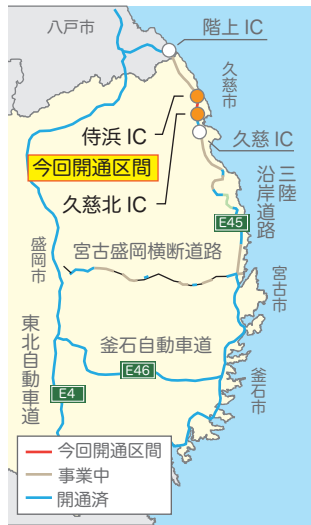
今回の開通区間に並行した国道 45 号には、急カーブ 6 区間、急勾配 9 区間があり、これまで事故などが多く発生していましたが、今回の開通で安全性が向上しました。

医療面では、洋野町種市庁舎から県立久慈病院までの所要時間が約 4 分短縮され、迅速で安定した救急医療活動を支援するほか、産業面では、青森県八戸市との取引が多い久慈市の水産加工業などの振興が期待されます。

洋野 IC（仮）～階上 IC 間（延長 7.0 km）は年内に、侍浜 IC～洋野 IC（仮）間（延長 16.0 km）は、来年 3 月までに開通する予定です。



開通した「久慈北 IC～侍浜 IC」  
(写真提供：国土交通省東北地方整備局  
三陸国道事務所)



## 「震災語り部ガイドセミナー」 開催

陸前高田市  
RIKUZENTAKATA

2月25日（火）、岩手県は、「令和元年度『震災語り部ガイドセミナー』」を東日本大震災津波伝承館などで開催しました。

これは、東日本大震災津波の経験や教訓を次世代に伝承するとともに、地域内外に情報を発信するために震災語り部ガイドの学びの場として開催されたもので、人材育成と相互連携の推進を目的としたものです。

セミナーでは、兵庫県淡路市の北淡震災記念公園総支配人 米山正幸氏が基調講演を行い、「語り継ぐことが生き残ったものの使命」と訴え、今後の災害への備えの重要性を述べました。

事例報告では、一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構の山崎麻里子氏が、自然災害を経験した地域と連携を図りながら地域づくり活動を続ける同機構の今後の活動展望を紹介し、参加した震災語り部ガイドら 32 人は今後の伝承のあり方や相互の連携について意見交換を行いました。



米山氏による基調講演



震災語り部ガイドセミナーの様子

## 世界へ、未来へ、「いわて TSUNAMI メモリアル」

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」  
(いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル) を紹介します。

令和 2 年 3 月 11 日（水）、東日本大震災津波伝承館（いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル）は、昨年 9 月 22 日の開館以降、初めての「3 月 11 日」を迎えました。

前日の大雨から一転、青空が広がったこの日、伝承館が所在する高田松原津波復興祈念公園には、平日にも関わらず開園直後から大勢の方々が訪れ、「海を望む場」や「献花の場」には、追悼の列が途切れることはありませんでした。また、伝承館には、2,000 人を超える方々が来館し、館内には、当時の状況を知らない子供たちと展示について語り合う親子連れや、解説員の説明に熱心に耳を

傾ける県外からの団体の姿が数多く見られ、震災津波の教訓に理解を深めながら、当時に思いを馳せる 1 日となりました。

夕方からは、昨年伝承館に来館した岩手県立盛岡第二高校の皆さんから提供されたキャンドルが「慰霊と復興の灯」として園内を飾り、震災津波で尊い命を失われた方々に鎮魂の祈りを捧げました。

あの日から 9 年、東日本大震災津波伝承館は、この悲しみを二度とくり返さないためにも、震災津波の事実と教訓を伝え続けていきます。



発災時刻・海を望む場での黙とうの様子



解説員の説明に聞き入る来館者



キャンドルライティングの様子

2月16日（日）、東日本大震災津波の風化防止を図り、被災地への継続的な支援を呼び掛けようと「復興応援・復興フォーラム 2020 in 東京」（主催：東京都、東北4県・東日本大震災復興フォーラム実行委員会）が、東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開催され、約1,000人が参加しました。

オープニングセレモニーでは、「復興の未来を切り拓く、スポーツの力」をテーマに、小池東京都知事と被災4県を代表して達増知事、元ラグビー日本代表の大畑大介氏、車いすラグビー TOHOKU STORMERS の庄子健氏によるトークセッションが行われました。ラグビーワールドカップ

2019™の成功を東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に繋げようと、「復興五輪の成功」と記されたラグビーボールが達増知事から小池知事にパスされました。

続いて、青森・岩手・宮城・福島4県の代表者が「スポーツによる復興」をテーマに、それぞれの取組事例を発表し、岩手県からは、釜石シーウェイブス RFC ゼネラルマネージャーの桜庭吉彦氏が登壇し、ラグビーワールドカップ 2019™釜石開催の誘致に向けた取組などについて発表しました。

また、岩手県立釜石商工高校の生徒による郷土芸能「釜石虎舞」の演舞や岩手県出身の演歌歌手 福田こう

へい氏によるミニライブ & トークも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

会場内では、東北4県の特産品の販売や東京都・4県のPRブースから出題されるクイズラリーの開催、チャグチャグ馬コなどの工芸品づくりの体験等、復興の歩みを続ける各県の姿を首都圏に向けてPRしました。



岩手県ブースの様子



メッセージ入りラグビーボールの受け渡し



桜庭氏の事例発表



釜石商工高校による釜石虎舞

## 「買うなら岩手のもの運動」 ～ 買って、食べて地域を元気に応援キャンペーン ～

岩手県は、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大でイベント等の中止や、観光交流の急激な減少などにより経済活動や県民生活等に影響がでてきていることから、県民の皆様が県内の生産者や企業の商品を知って、消費していただくことで、地元生産者や企業を応援し、地域全体を元気にしていくためのキャンペーンを展開します。

### キャンペーン期間

3月6日（金）から当面の間

### キャンペーンへの協力事業者をお願いしたい取組

- (1) 県産品の優先的な仕入れ
  - ・県内の生産者や事業者からの優先的な仕入れ
- (2) キャンペーンロゴの掲載による消費者へのPR
  - ・チラシ等への掲載
  - ・店頭や売場への掲示
  - ・ホームページへの掲載 など
- (3) 協力店における独自販売促進企画の実施
  - ・本キャンペーンの特設販売コーナーの設置
  - ・東日本大震災津波や台風災害の復興応援企画
  - ・売り場における県産品の推奨表示 など

### 県における取組

＜キャンペーンの周知のための広報宣伝＞

岩手県では、本キャンペーンについてマスコミ等を通じて広く周知するとともに、ホームページ等を通じて協力事業者の取組を紹介していきます。

＜キャンペーン媒体の提供＞

協力事業者には、キャンペーンロゴ（JPGデータ）、キャンペーンPR媒体を提供します。

### 申し込み方法

本キャンペーンにご協力いただける事業者の方は、参加申込書に必要事項を記入の上、FAXまたはメールで、お申し込みください。

詳しくは県ホームページをご覧ください



買って、食べて地域を元気に応援キャンペーン

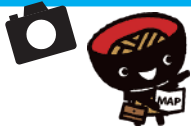
キャンペーンロゴ



店内での掲示例

■問い合わせ：岩手県 商工労働観光部 産業経済交流課

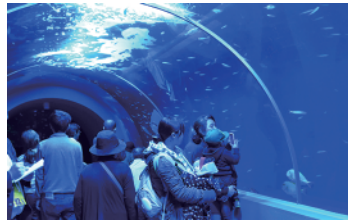
☎ 019-629-5536 FAX019-623-2510 メール AE0003@pref.iwate.jp



「もぐらんぴあ水族館」は、世界で唯一、ヘルメット式潜水器による「南部もぐり」の実演と「北限の海女」の素潜り実演を見ることができる北三陸の観光スポットのひとつです。



“南部もぐり”の実演



人気の“トンネル水槽”

もぐらんぴあは、海岸近くにある久慈国家石油備蓄基地を造る時の作業用トンネルを使用した日本初の地下水族館で、石油文化ホールと水族館があります。東日本大震災津波では全壊しましたが、平成 28 年 4 月に再開しました。

館内には、震災を生き延びたアオウミガメの「かめ吉」が泳ぐ“トンネル水槽”や水槽の中に直接手を入れて魚に餌をあげ

る体験ができる“ふれあい水槽”があるほか、展示室も備え、見て・体験して・学べる施設として人気のスポットです。

- 所在地：久慈市侍浜町麦生 1-43-7
- 利用時間：4～10月 9:00～18:00  
11～3月 10:00～16:00  
(最終入館は閉館 30 分前)
- 定休日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
- 入場料金：一般 700 円、高校生・学生 500 円  
小学生・中学生 300 円
- 実演スケジュール：土・日・祝のみ  
・南部もぐりの実演 11:30～  
・北限の海女の素潜り実演 13:30～
- 問い合わせ：☎ 0194-75-3551



連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介していきます。

第 104 回は、菊池 晃総さんを紹介いたします。

PROFILE

大槌町出身。高校卒業後、理容師になるため神奈川県理容専門学校へ進学する。

平成 16 年に大槌町に戻り、現在、家業の理容店を営むかたわら、昨年 3 月には大槌駅舎内に「麺匠 Tokishirazu (ときしらず)」をオープンする。

地元の特産品を生かして

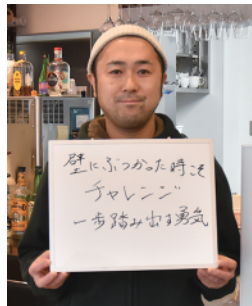
菊池さんは、震災後、被災地の復興を支援することを目的とした、「新しい東北」大槌若者チャレンジ事業の一環として、ラーメン好きの仲間と“大槌ラーメン研究会”を立ち上げました。

研究会は、「地元の特産品を使ったオリジナリティのある商品を」と、大槌町が新巻鮭発祥の地とされていることから“新巻鮭ラーメン”を開発しました。

この活動が話題になり、三陸鉄道が全線結ば



hair salon「Base」代表  
「麺匠 Tokishirazu」店主  
菊池晃総さん  
(きくちあきふさ)



壁にぶつかった時こそ  
チャレンジ  
一歩踏み出す勇氣

れた昨年 3 月、菊池さんは大槌駅舎内に「麺匠 Tokishirazu」をオープンしました。

「鶏ガラのスープと新巻鮭を煮出したスープを合わせ、すっきりとした味が人気です。“大槌と言えば新巻鮭ラーメン”と言われるよう、多くの人に知ってもらいたいと思います。」と、地元の特産品から新メニューを提供しています。

商店を中心に賑わいのある町に

菊池さんは、まちの復興について、「工事やインフラなどは整って落ち着いてきたと思います。一方で、大槌でも高齢化が進み、震災後、一から借金をして商売を復旧させるのは厳しいという声もあり、商店が少なくなりました。震災前、住宅地で商店があった場所は、空き地が目立ち寂しく思います。これからは商店を中心に賑わいを取り戻し、活気のある町になってほしいと思います。」と大槌町に思いを寄せます。

“新巻鮭ラーメン”が大槌に人を呼び、まちがより賑わうよう、これからの菊池さんの活躍が期待されます。

岩手県の被害状況

令和 2 年 2 月 29 日現在

- ▶ 人的被害 死者（直接死）：4,674 人 行方不明者：1,112 人  
死者（関連死）：469 人
- ▶ 建物被害（住家のみ、全半壊） 26,079 棟

被害状況等の詳細  
義援金・寄付金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

皆様のご支援、ありがとうございます

令和 2 年 2 月 29 日現在

- ▶ 義援金受付状況 約 187 億 2,276 万円 (97,273 件)
  - ▶ 寄付金受付状況 約 200 億 6,863 万円 (9,784 件)
  - ▶ いわての学び希望基金（※）受付状況 約 100 億 609 万円 (24,268 件)
- ※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ～希望～  
約 24 万点の資料を検索・閲覧できます。

いわて震災津波アーカイブ

検索



いわて復興だより Web

一部記事、いわてさんりくびとを動画で紹介しています。  
ビジュアル豊富な Web もご覧ください。

